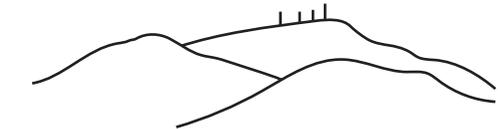


Youth Manna

2019/8/5 - 8/11



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/8/5(月)

マタイ 24:1-14

イエス様は弟子たちの質問に答えるかたちで、世の終わる時のことを話されました。

「この世の終わり」の話を読んで、君はどういう気持ちになるかな？それはあなたにとって希望でしょうか？それとも来たら困ることでしょうか？「終わり」は必ず来ることとしてイエス様は語られています。そして御国の福音が全世界に宣べ伝えられ、全ての民族に証されてから「終わり」が来ると語られました。

この働きは神様の心を受け取った一人一人が、聖霊の助けを受けてしていくことです。あなたはこの神様の計画にどのように参加していきますか？君が伝えるべき相手は誰だろう？祈って出て行こう！

2019/8/6(火)

マタイ 24:15-28

イエス様は、終わりの日には今までもこれからも無いような大きな苦難が起こること、偽キリスト、偽預言者が現れて人々を惑わすことを語られました。また、その際にどのように行動すべきか、惑わされないようにどう注意すべきかについても語られました(15-26)。イエス様が再び到来することについても示されているね(27)。

私たちはこの預言が必ず成就することを知る必要があります。そして日々、苦難や惑わしの中にあってもイエス様が語られたことに心を留めて歩む必要があるね。終わりの時も、今の時も、歴史を動かされる方は神様です。終わりがあることを知る者として、今日も神様と共に歩もう！

2019/8/7(水)

マタイ 24:29-51

話を聞いた人が自分の生活経験と結びつけて理解するために、イエス様は多くのたとえを用いて話します。私たちは誰も経験したことのない「終末」をどのようにとらえているのでしょうか。今日の箇所にも「あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らない」と書いてあります。

イエス様は「ですから」と私たちに語りかけます。「目を覚ましていなさい」という言葉はあなたにとってどのような意味がありますか。私たちにはわからないことがあるからこそ、目を覚ましてする必要があります。遠くに感じる「終末」をたとえを用いて語ったイエス様を思い、今日すべきこと、すべきではないことを決めましょう！

2019/8/8(木)

マタイ 25:1-13

終わりの日は思いがけないときにやってくる。だから備える大切さを教えるため、イエスは、婚礼の娘たちのたとえ話を話された。当時の婚礼は数日続くことがあり、花婿が祝宴に来るのが遅れて夜になることもあった。祝宴への入場のために明かりをともし役割は婚礼の大切な一部であったそうです。

十人の娘たちの内、愚かな娘たちは灯の予備を持っていなく、賢い娘たちは花婿が遅くなることも考え、予備の油を用意していた。花婿が来るのが遅れ、愚かな娘たちの灯が消えそうになり買いに行ったが、その間に花婿が来てしまい戸は閉められ、愚かな娘たちは入ることができなかった。

備えは他人ができるのではなく、それぞれが自分でしなければならぬことです。あなたと神様との関係は確かなものになっていますか？神様との時間を取ろう！！

2019/8/9(金)

マタイ 25:14-30

今日の箇所に出てくる3人のしもべにはそれぞれ違う金額が渡されましたが、1タラントでも当時は莫大な金額でした。それぞれに合う金額を主人は渡しました。教会の人達の中でも、それぞれ違う役割が与えられています！自分が与えられている物をちゃんと理解する必要があります！

今自分がしなければいけないと知っている事はありますか？変わらないといけないと知っている事はありますか？今、自分の人生の中心となっているものが神様になっているか考えてみよう！役割を果たせるようにと祈ろう！

2019/8/10(土)

マタイ 25:31-46

イエス様が再びこの地に来るとき、すべての人々が御前に集められる。その時、私たちは羊とやぎを分けるように分けられ、それぞれに祝福か、のろいかどちらかを与えられるとイエス様は言っているね。羊として分けられた人々は、自分がした覚えはないけど、主を受け入れ、助けて、もてなすということをした人々だった。最も小さい者にしたこと、それが主に対してしたことだってイエス様は話していたね。

主は私たちが愛をもって低く仕えること、人に見られないようなことに忠実な心と行動を喜んでくださるお方なんだ。人目につかないところでの私たちの過ごし方はどうかな？家族や、親戚、教会の小さい子たちのために何が出来るかな？考えてみよう！！

2019/8/11(日)

マタイ 26:1-13

とても高価な香油の壺を割って、イエス様に愛を示したマリアに対して、弟子たちはそんなことをするのはもったいないと言って非難しました。しかしマリアは計算などせず、自分のもてるすべてをささげてイエス様を愛そうとしました。

私たちが愛を示すときに、計算したり、もったいないと思って惜しんでしまうことはないでしょうか。

全く計算などせず、十字架によって無条件の愛を注いでくださったイエス様の愛を私たちは知っています。その愛によって、マリアのようにただイエス様を愛する者になれるように祈ろう！